

第33回港区民世論調査報告書 概要版

MINATO OPINION

ミナト

オピニオン

この冊子は、令和3年12月に実施した「第33回港区民世論調査」の結果の概要版です。ご協力いただきました区民の皆様にご心から感謝申し上げます。

【調査の概要】

■調査設計等

【調査対象】 港区在住の満18歳以上の男女個人（外国人を含む）

【標本数】 2,000人

【抽出方法】 住民基本台帳からの層化無作為抽出

【調査方法】 郵送配布・郵送又はインターネットによる回収

【調査期間】 令和3年12月1日（水）～12月15日（水）

【有効回収数】 558人

【有効回収率】 27.9%

■調査項目

- | | | | |
|---|-----------|----|---------|
| 1 | 定住意向 | 8 | 男女平等 |
| 2 | 区政全般 | 9 | 平和 |
| 3 | 区基本計画 | 10 | 災害対策 |
| 4 | みなとタバコルール | 11 | 自殺対策 |
| 5 | 生物多様性 | 12 | 防犯対策 |
| 6 | 地球温暖化対策 | 13 | やさしい日本語 |
| 7 | 全国連携の取組 | | |

※ 図表中の「n」は、その設問の回答者数を表しています。

※ 回答率は百分率で算出し、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※ 複数回答の設問では、回答率の合計が100%を超える場合があります。

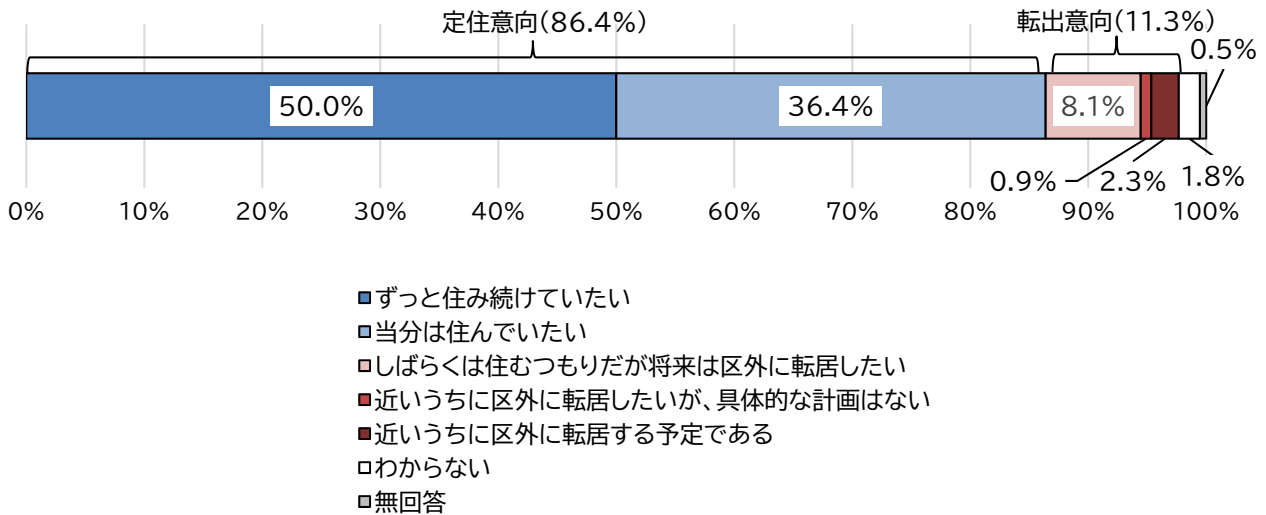
※この冊子は英語版も発行しております。港区ホームページをご覧ください。03-3578-2111(区役所代表)へ送付希望の旨ご連絡ください。

港 区

1 定住意向

これからも港区に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(50.0%)が5割で最も多く、これに「当分は住んでいたい」(36.4%)を合わせた『定住意向』(86.4%)は8割半ばとなっています。一方、「しばらくは住むつもりだが将来は区外に転居したい」(8.1%)と「近いうちに区外に転居したいが、具体的な計画はない」(0.9%)と「近いうちに区外に転居する予定である」(2.3%)を合わせた『転出意向』(11.3%)は1割を超えています。(図1)

図1 n=558(単一回答)

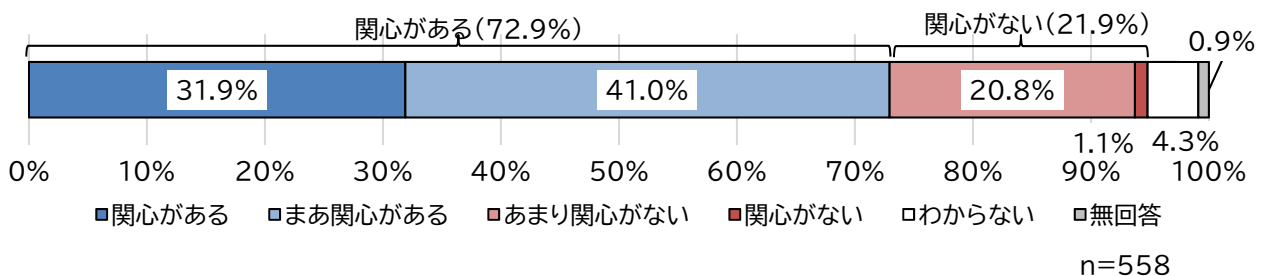


2 区政全般

港区政に関心があるか聞いたところ、「まあ関心がある」(41.0%)が4割を超えて最も多く、これに「関心がある」(31.9%)を合わせた『関心がある』(72.9%)は7割を超えています。

一方、「あまり関心がない」(20.8%)と「関心がない」(1.1%)を合わせた『関心がない』(21.9%)は2割を超えています。(図2)

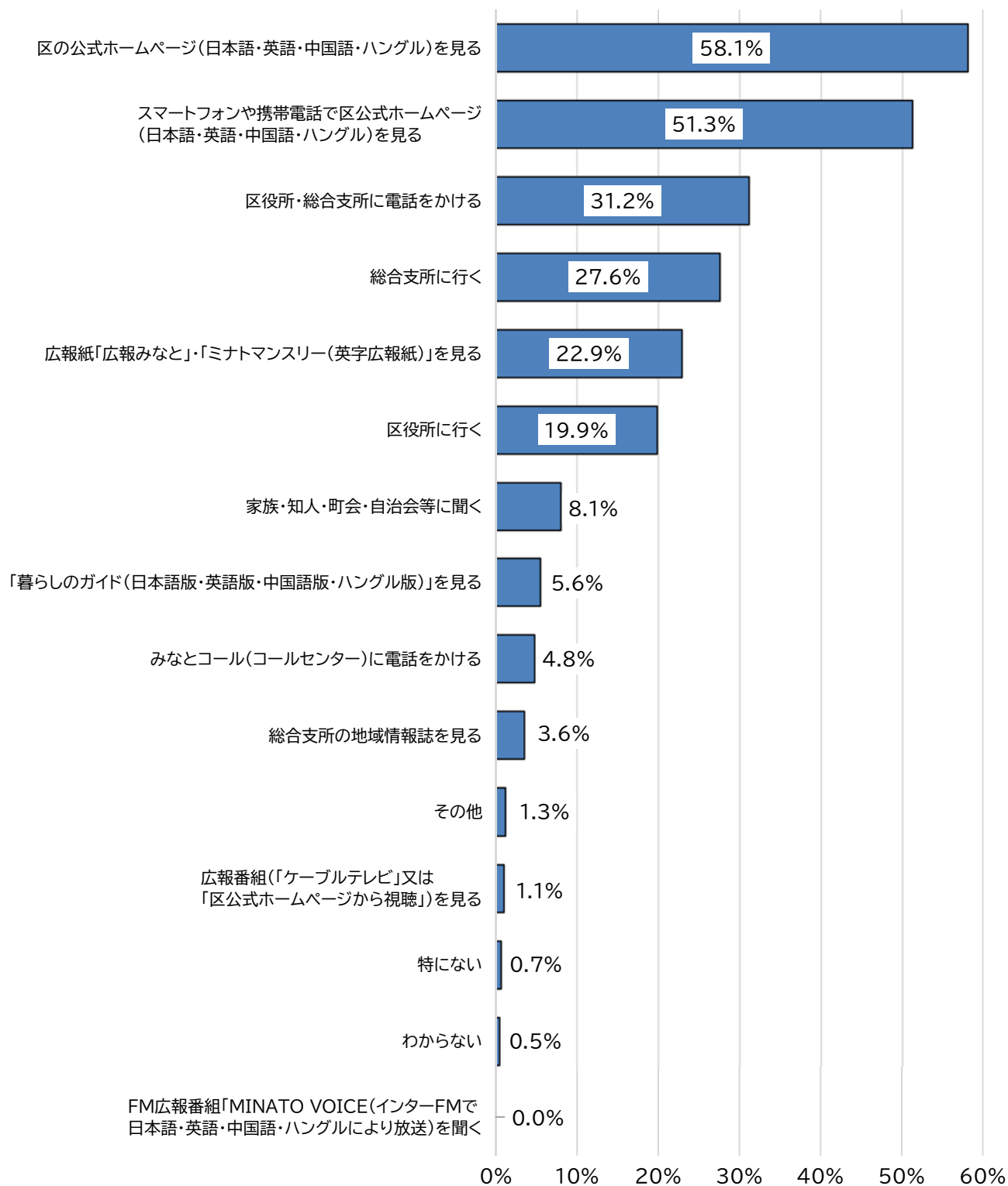
図2 n=558(単一回答)



区の行政サービスや手続きの方法を知りたいとき、どのように情報を入手するか聞いたところ、「パソコンやタブレット等で区公式ホームページ(日本語・英語・中国語・ハンブル)を見る」(58.1%)が6割近くで最も多く、次いで「スマートフォンや携帯電話で区公式ホームページ(日本語・英語・中国

語・ハングル)を見る」(51.3%)、「区役所・総合支所に電話をかける」(31.2%)、「総合支所に行く」(27.6%)、「広報紙「広報みなと」・「ミナトマンスリー(英字広報紙)」を見る」(22.9%)と続いています。(図3)

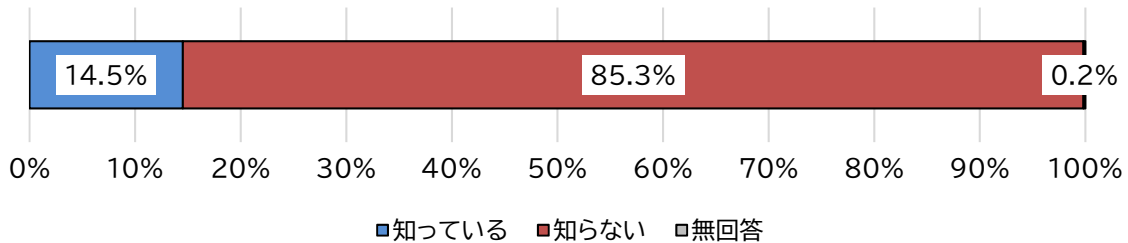
図3 n=558(複数回答可)



3 区基本計画

令和2(2020)年度に策定した「港区基本計画(令和3(2021)年度～令和8(2026)年度)」について知っているか聞いたところ、「知っている」(14.5%)は1割半ばであり、「知らない」(85.3%)が8割半ばとなっています。(図4)

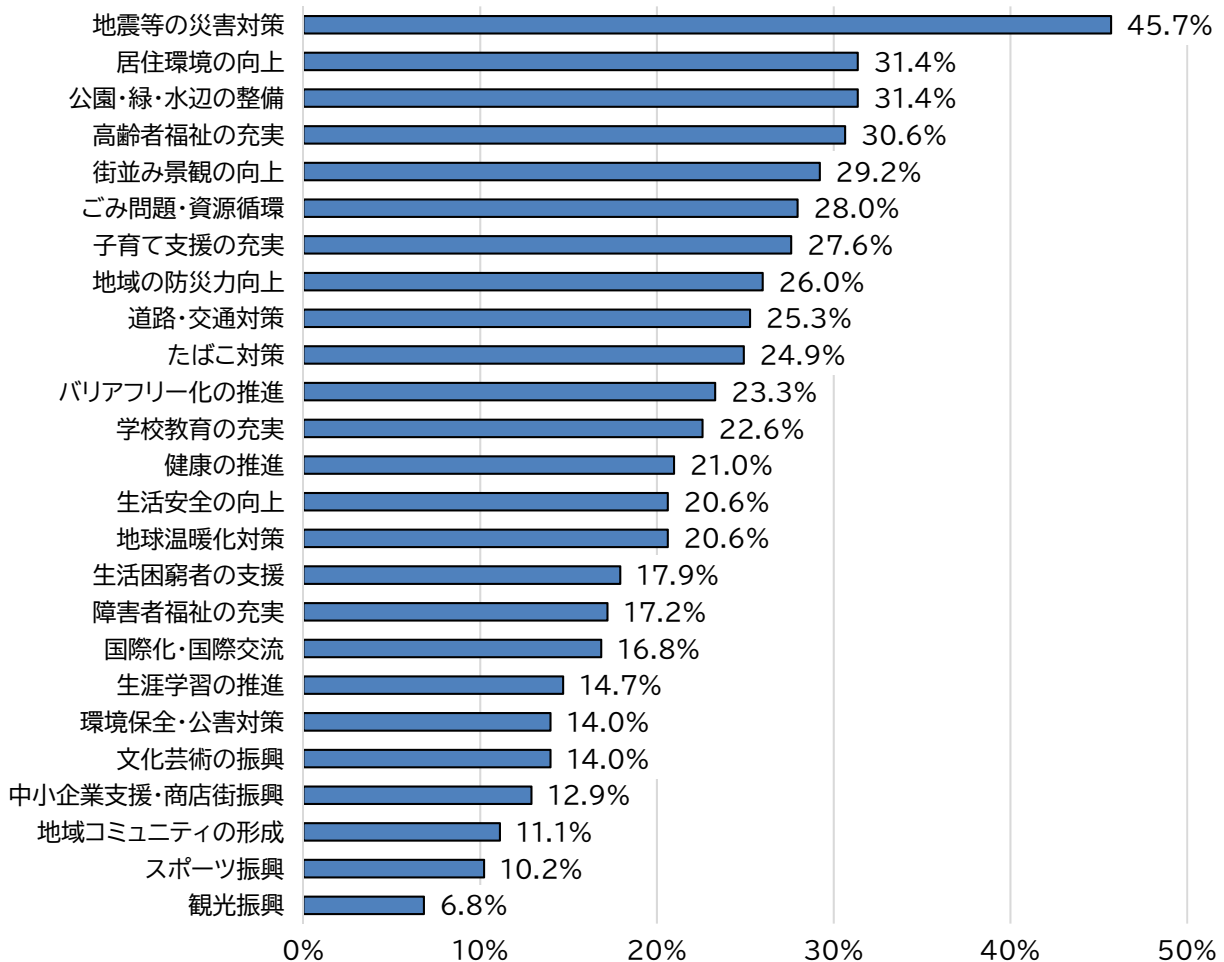
図4 n=558(単一回答)



今後、港区が特に重点的に取り組むべきと思うものを複数選択で聞いたところ、「地震等の災害対策」(45.7%)が4割半ばと最も多くなっています。次いで、「居住環境の向上」(31.4%)、「公園・緑・水辺の整備」(31.4%)、「高齢者福祉の充実」(30.6%)が3割を超えています。

(図5)

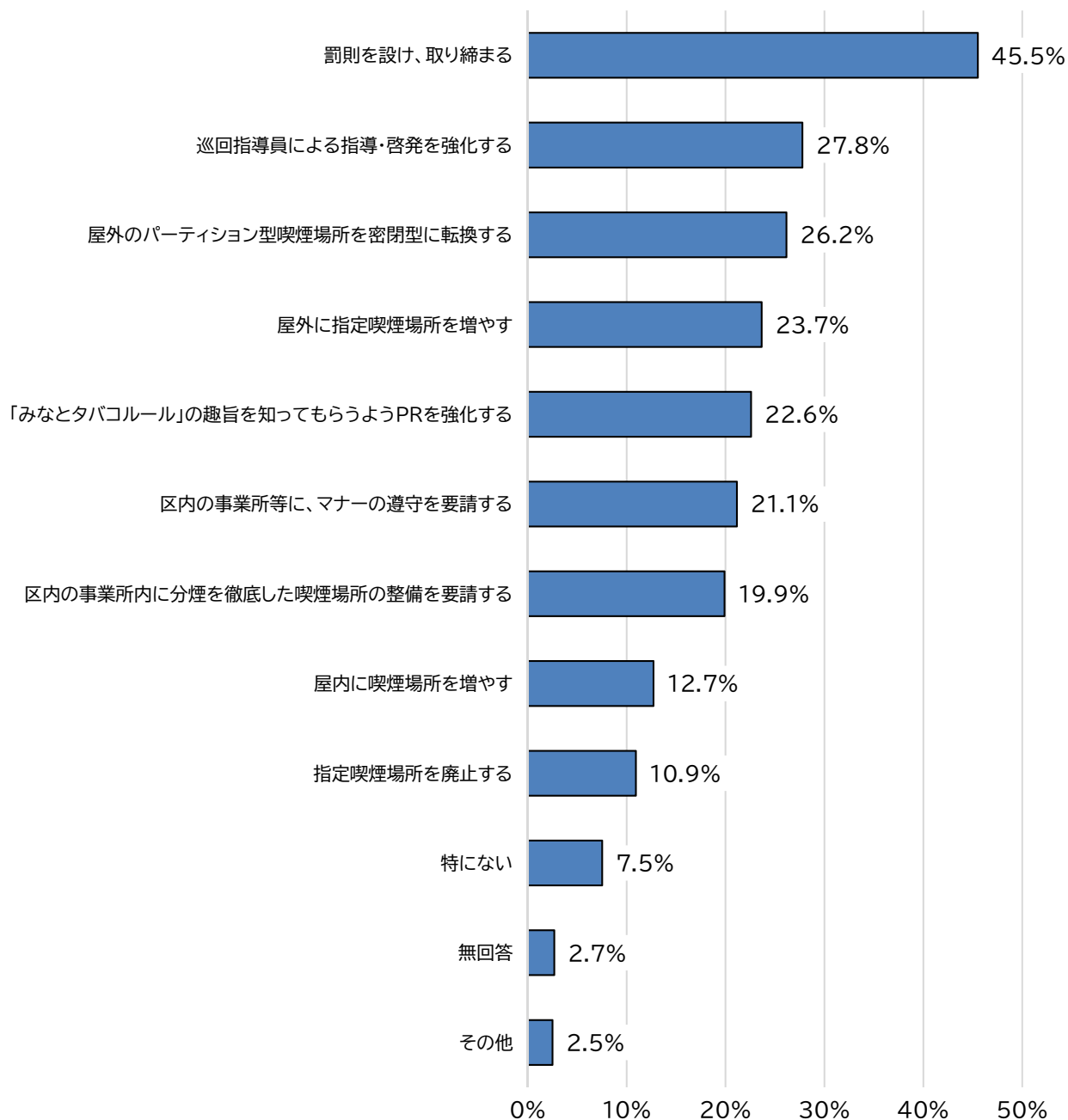
図5 n=558(複数回答可)



4 みなとタバコルール

今後のたばこ対策として、どのような取組が必要だと思うか聞いたところ、「罰則を設け、取り締まる」(45.5%)が4割半ばで多く、「巡回指導員による指導・啓発を強化する」(27.8%)が続いています。(図6)

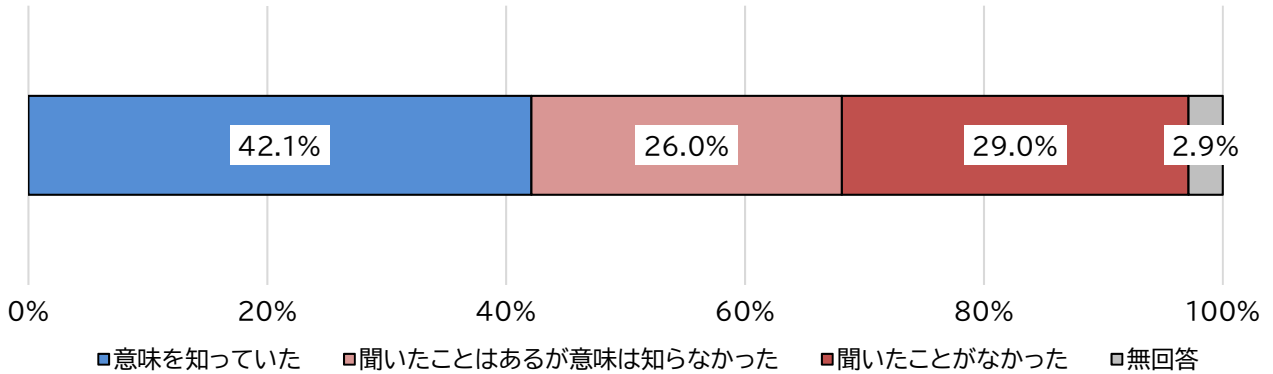
図6 n=558(複数回答可)



5 生物多様性

「生物多様性」という言葉を知っているか聞いたところ、「意味を知っていた」(42.1%)が4割を超えて最も多く、「聞いたことがなかった」(29.0%)が約3割となっています。(図7)

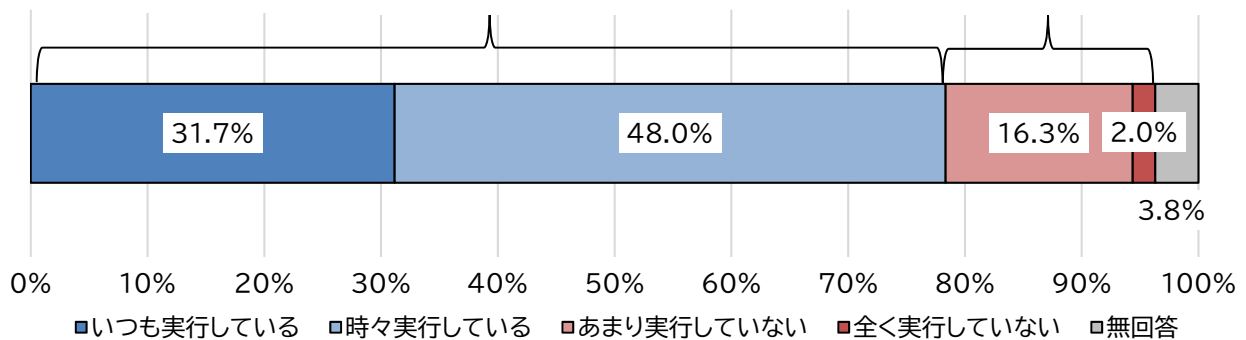
図7 n=558(単一回答)



6 地球温暖化対策

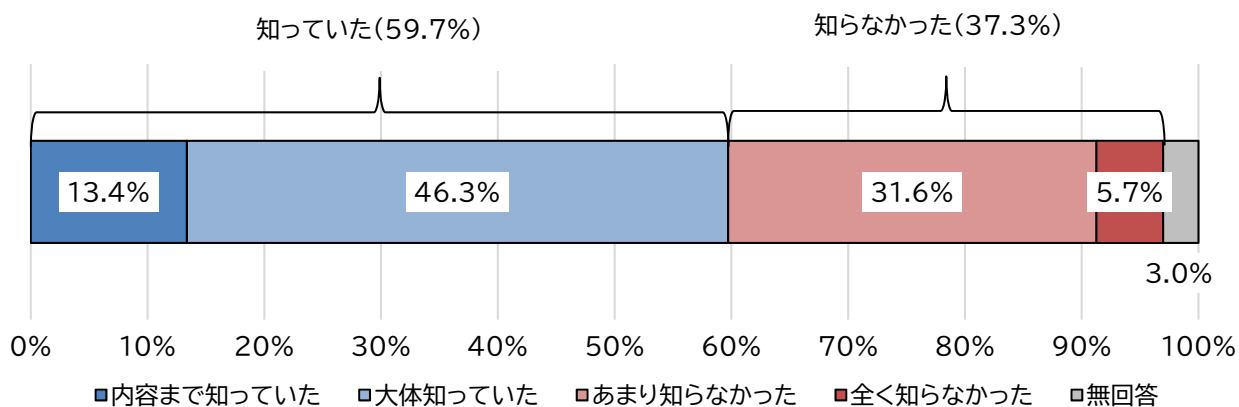
日常生活の中でどのくらい省エネルギーを意識した行動を実行しているかについて聞いたところ、「時々実行している」(48.0%)が5割近くと最も多く、これに「いつも実行している」(31.7%)を合わせた『実行している』(79.7%)は8割となっています。一方、「あまり実行していない」(16.3%)と「全く実行していない」(2.0%)を合わせた『実行していない』(18.3%)は2割近くとなっています。(図8)

図8 n=558(単一回答) 実行している(79.7%) 実行していない(18.3%)



「気候変動の影響への適応」について、どのくらい知っていたかについて聞いたところ、「大体知っていた」(46.3%)が4割半ばで最も多く、これに「内容まで知っていた」(13.4%)と合わせた『知っていた』(59.7%)は6割となっています。一方、「あまり知らなかった」(31.6%)と「全く知らなかった」(5.7%)を合わせた『知らなかった』(37.3%)は4割近くとなっています。(図9)

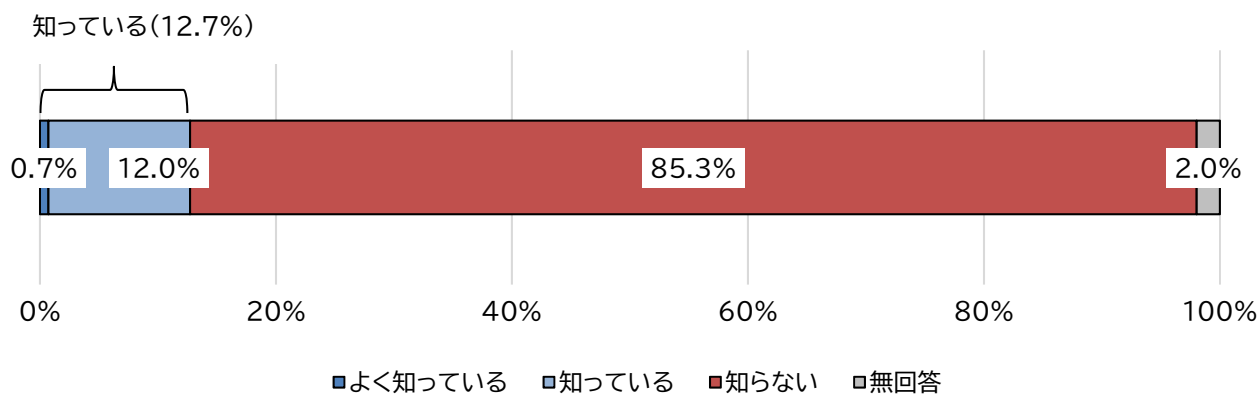
図9 n=558(単一回答)



7 全国連携の取組

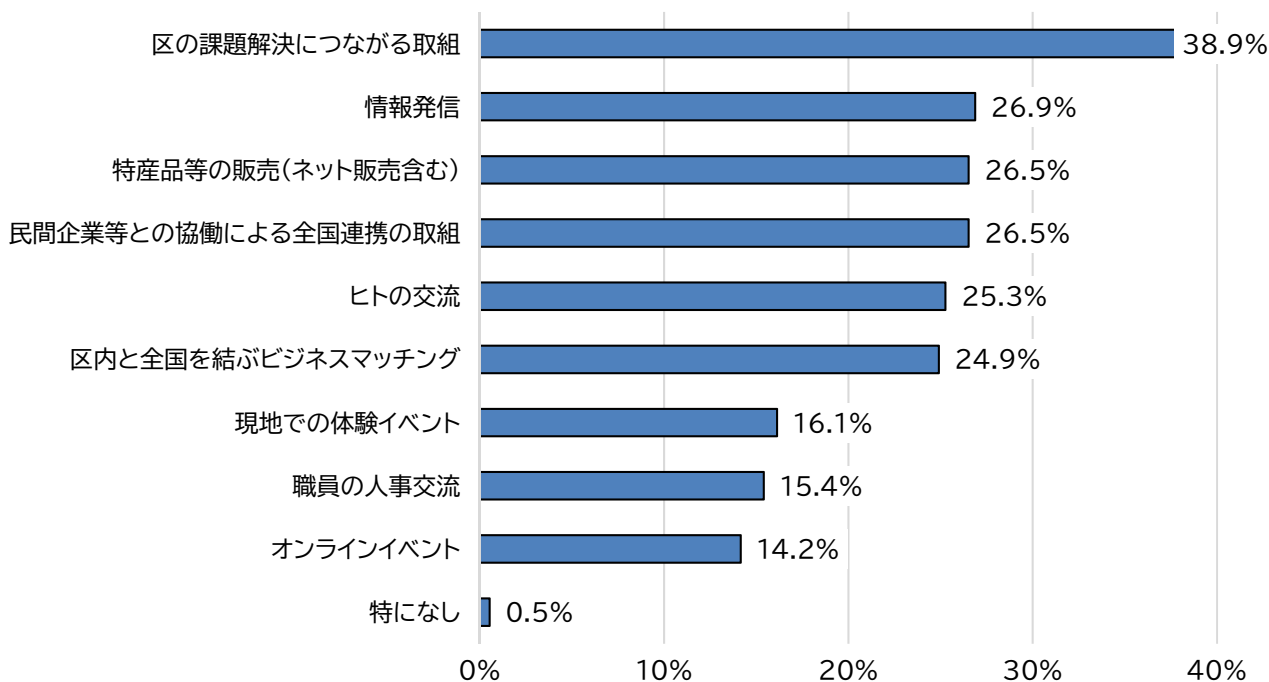
区の全国連携の取組について知っているか聞いたところ、「知らない」(85.3%)が8割半ばで最も多くなっています。一方、「よく知っている」(0.7%)、「知っている」(12.0%)を合わせた『知っている』(12.7%)は1割を超えています。(図10)

図10 n=558(単一回答)



今後、全国連携の取組として、どのような取組が必要かについて聞いたところ、「区の課題解決につながる取組」(38.9%)が4割近くで最も多く、「情報発信」(26.9%)、「特産品等の販売(ネット販売含む)」(26.5%)、「民間企業等との協働による全国連携の取組」(26.5%)、「ヒトの交流」(25.3%)、「区内と全国を結ぶビジネスマッチング」(24.9%)が2割半ばかりから3割近くで続いています。(図11)

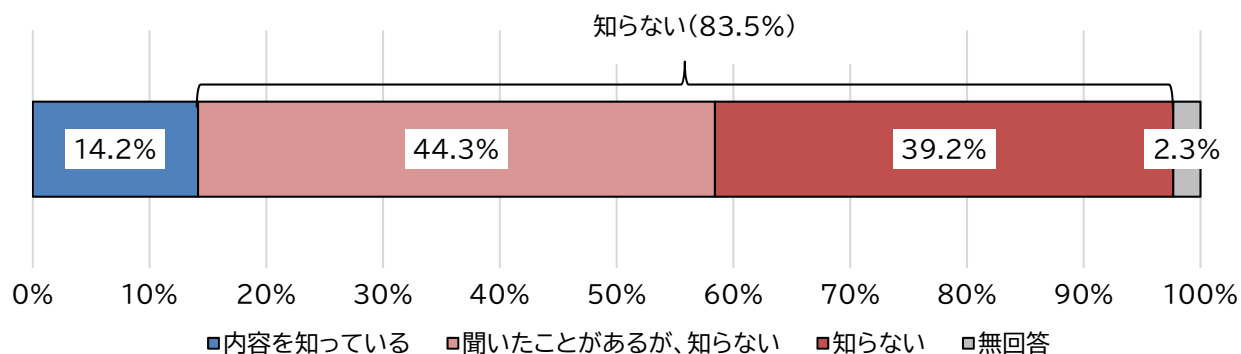
図11 n=558(複数回答可)



8 男女平等

「港区男女平等参画条例」について、見たり聞いたりしたことがあるか聞いたところ、「内容を知っている」(14.2%)は1割半ばとなっています。一方、「聞いたことがあるが、知らない」(44.3%)と「知らない」(39.2%)を合わせた『知らない』(83.5%)は8割を超えています。(図12)

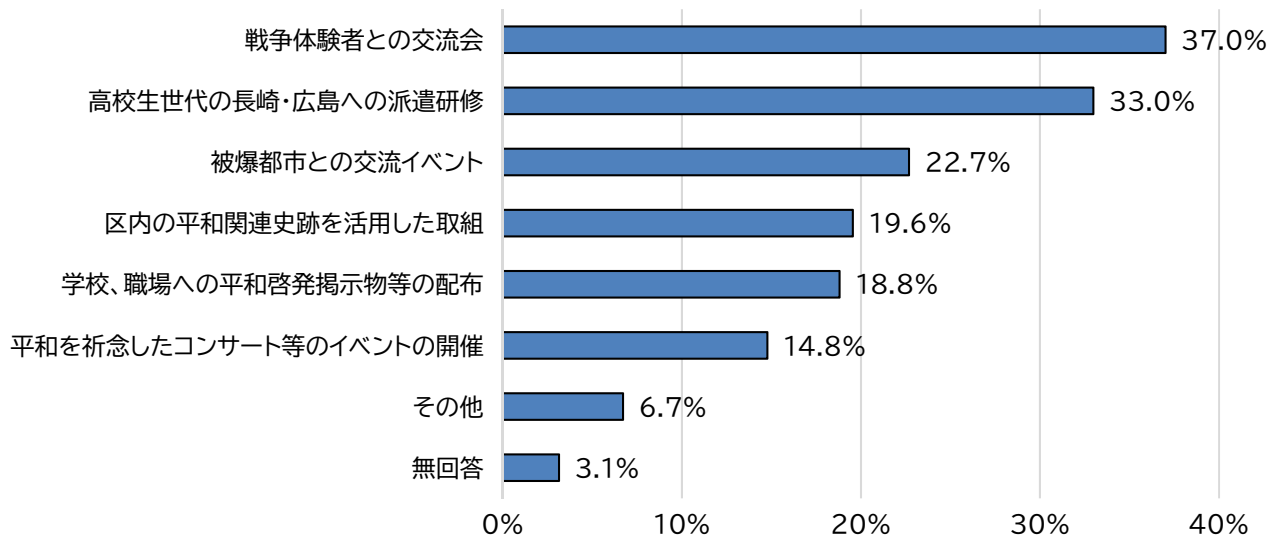
図12 n=558(単一回答)



9 平和

平和の大切さを伝えるためにどのような取組が必要か聞いたところ、「戦争体験者との交流会」(37.0%)が4割近くで最も多くなっています。(図 13)

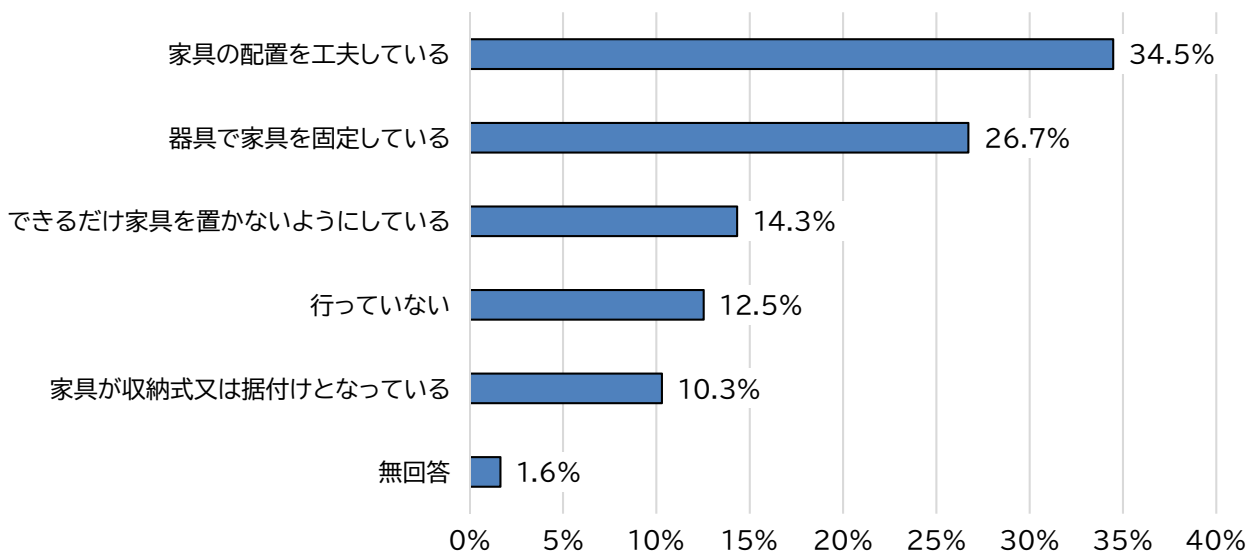
図 13 n=558(複数回答可)



10 災害対策

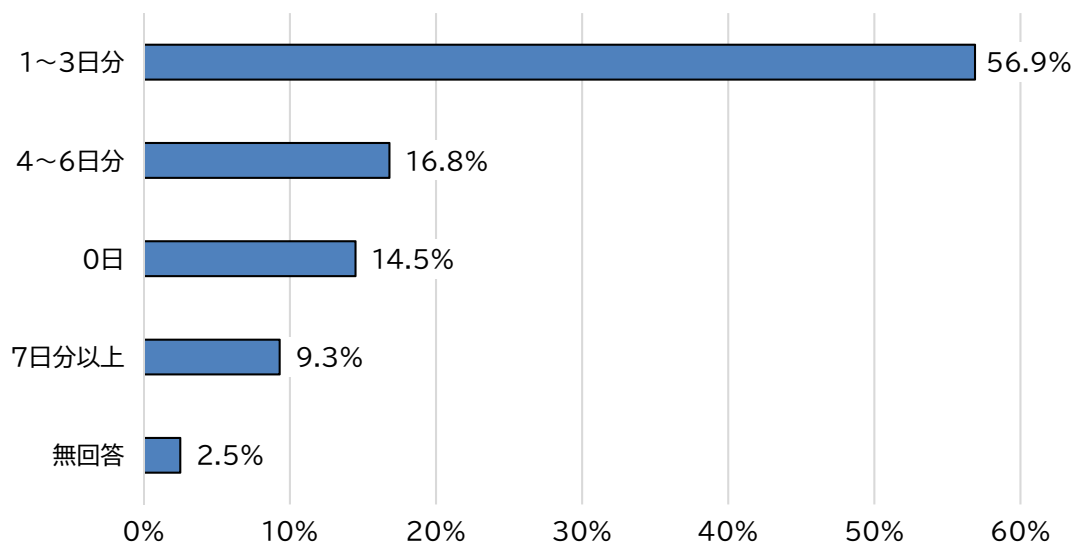
震災時に自宅でケガをしないために、自宅でどのような対策を行っているか聞いたところ、「家具の配置を工夫している」(34.5%)が3割半ばとなっています。(図 14)

図 14 n=558(単一回答)



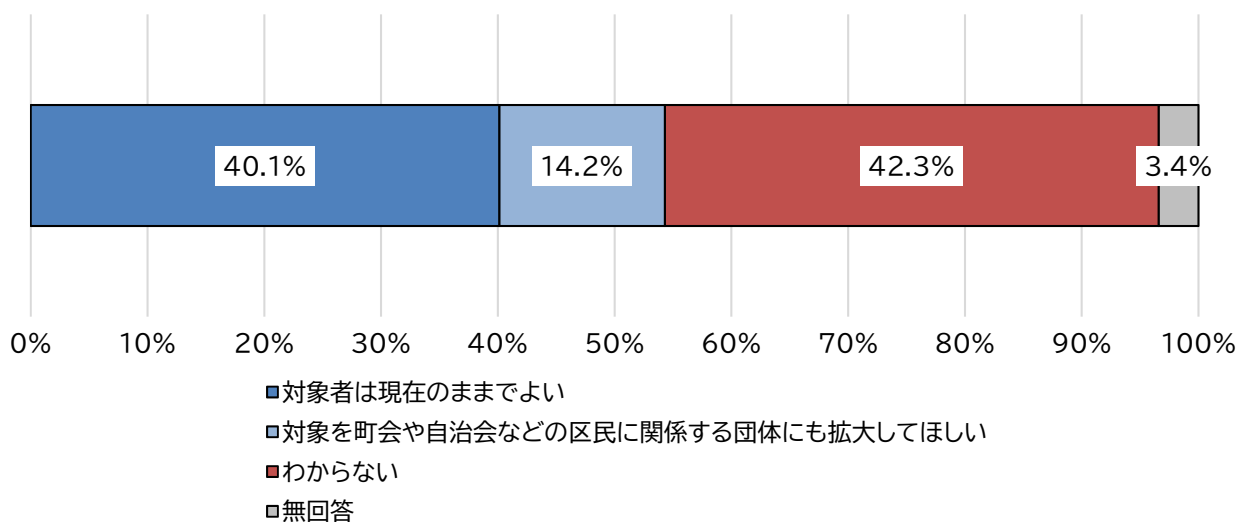
災害時に在宅避難等をする際の用意として、何日分の備蓄をしているか聞いたところ、「1～3日分」(56.9%)が6割近くで最も多くなっています。(図 15)

図 15 n=558(単一回答)



港区に住民登録があり、希望する世帯に配布している「港区防災ラジオ」の配布対象者について考えを聞いたところ、「対象者は現在のままでよい」(40.1%)が4割となっています。(図 16)

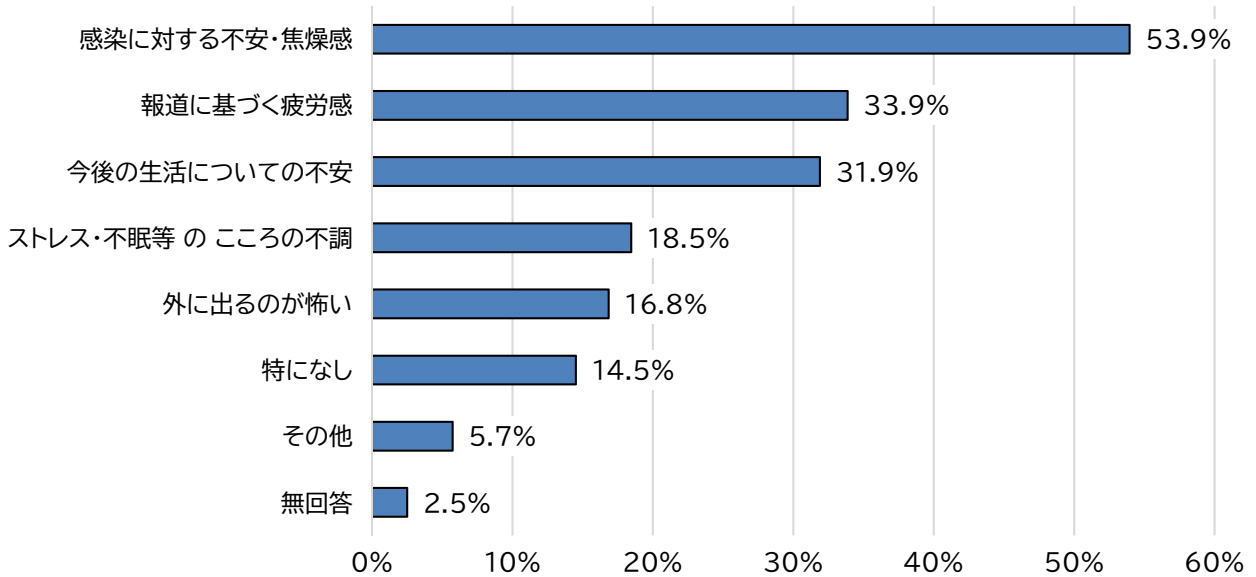
図 16 n=558(単一回答)



11 自殺対策

新型コロナウイルス感染症が流行する中で、これまでに感じたところの変化について聞いたところ、「感染に対する不安・焦燥感」(53.9%)が5割を超え最も多く、「報道に基づく疲労感」(33.9%)、「今後の生活についての不安」(31.9%)が3割を超えて続いています。(図 17)

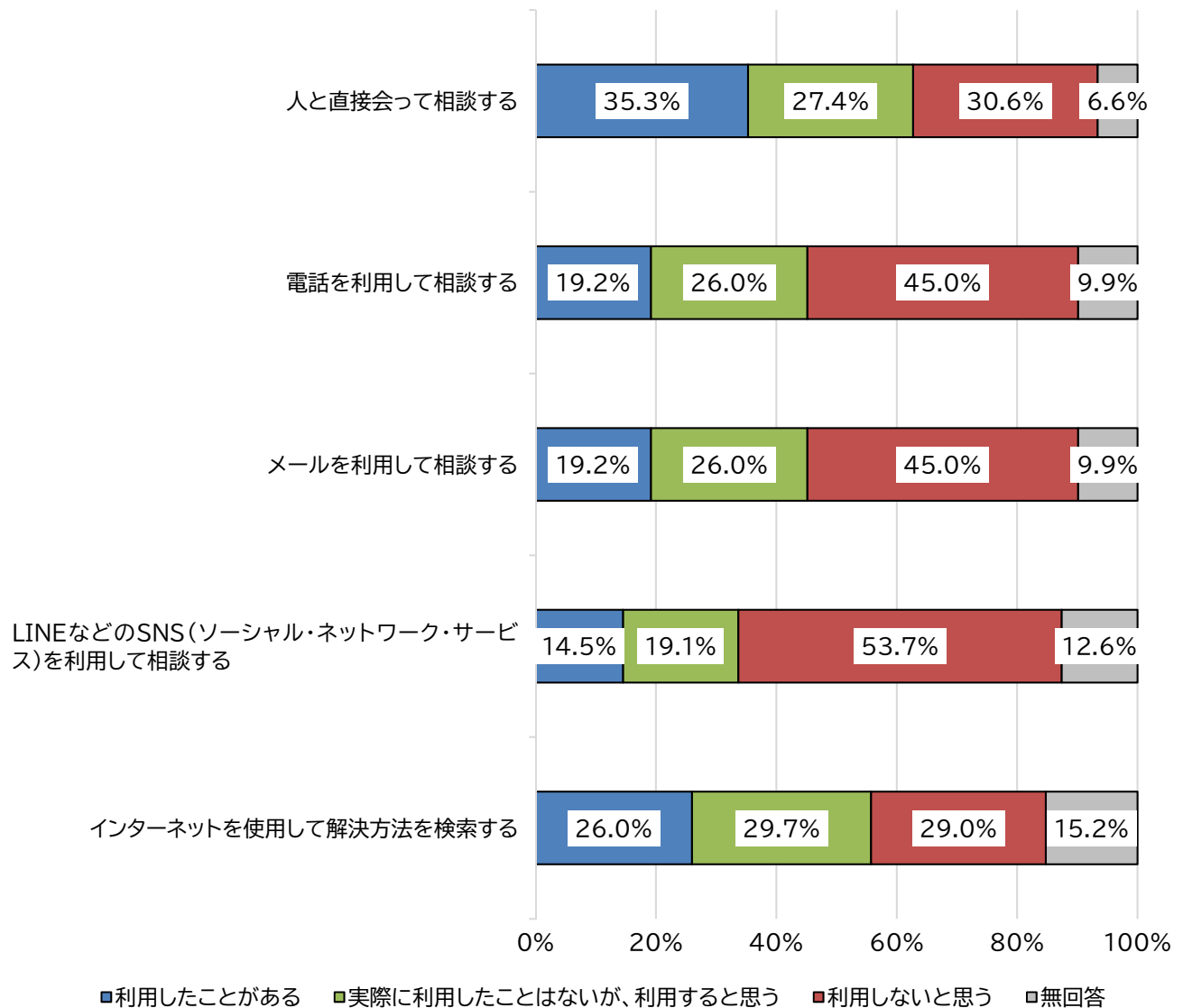
図 17 n=558(複数回答可)



ストレスを感じたときの悩みの相談方法を聞いたところ、「利用したことがある」が最も多くなったのは、「人と直接会って相談する」(35.3%)で3割半ばでした。一方「LINEなどのSNSソーシャル・ネットワーク・サービス)を利用して相談する」(14.5%)は1割半ばで最も少なくなっています。

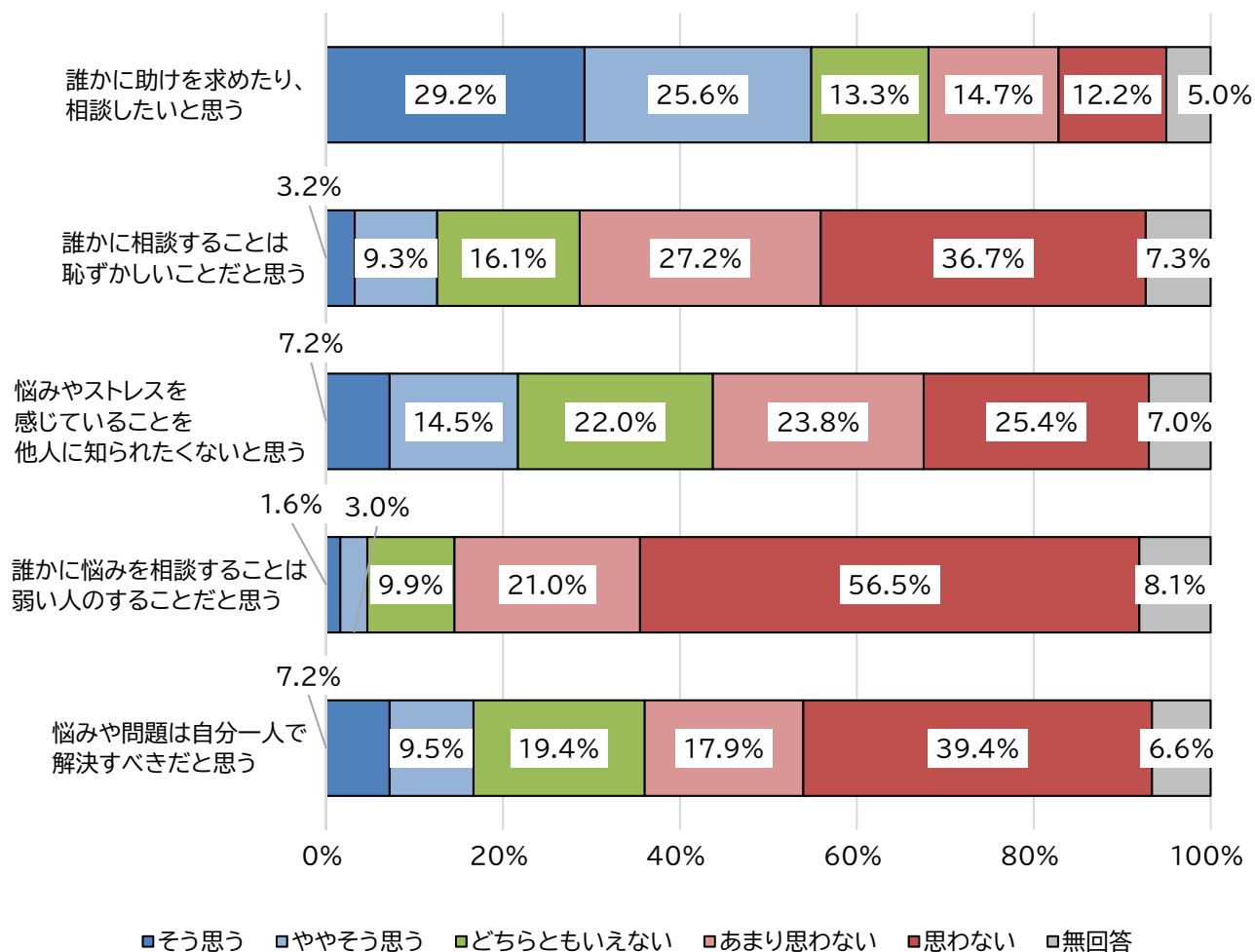
(図 18)

図 18 n=558(単一回答)



ストレスを感じたときに、どう考えるか聞いたところ、「そう思う」が最も多くなったのは、「誰かに助けを求めたり、相談したいと思う」(29.2%)で約3割でした。また、「思わない」が最も多くなったのは、「誰かに悩みを相談することは弱い人のすることだと思う」(56.5%)で5割半ばとなっています。(図19)

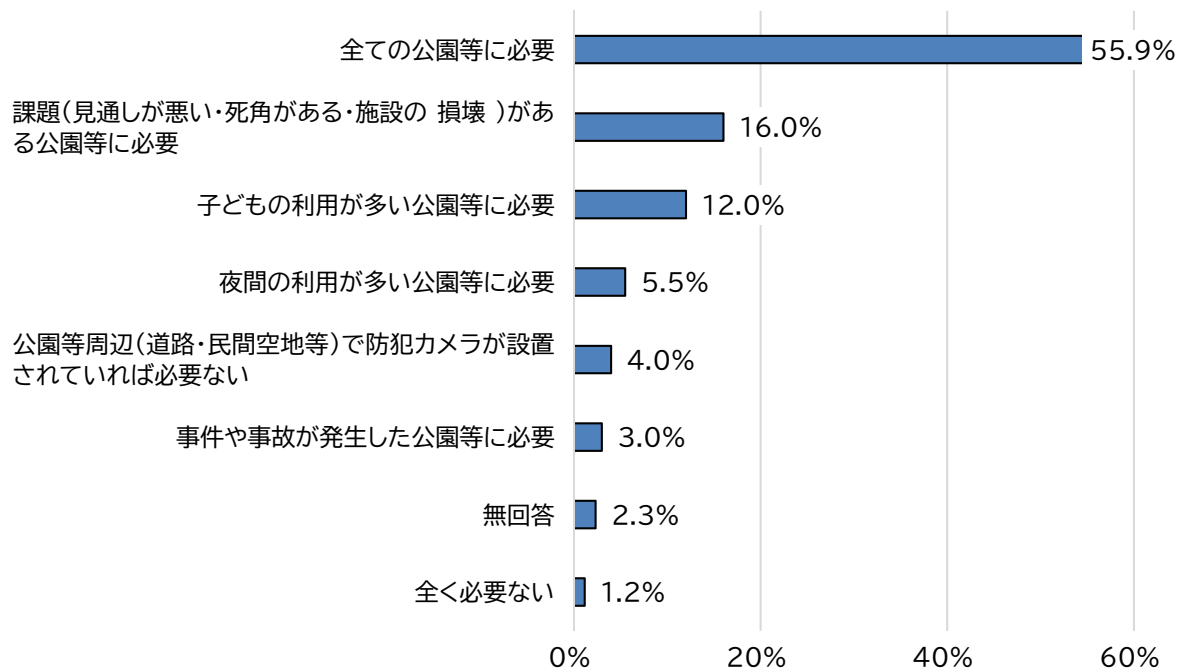
図19 n=558(単一回答)



12 防犯対策

公園等(公園・児童遊園)に防犯カメラは必要か聞いたところ、「全ての公園等に必要」(55.9%)が5割半ばと最も多くなっています。(図20)

図20 n=558(単一回答)



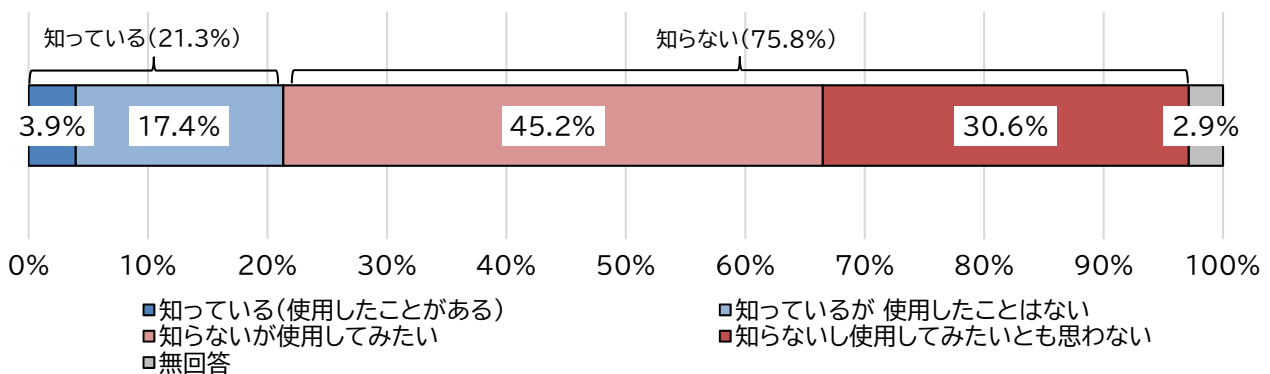
13 「やさしい日本語」

「やさしい日本語(※)」を知っているか聞いたところ、「知っている(使用したことがある)」(3.9%)と「知っているが使用したことはない」(17.4%)を合わせた『知っている』(21.3%)は2割を超えています。一方、「知らないが使用してみたい」(45.2%)が4割半ばで最も多く、これに「知らないし使用してみたいとも思わない」(30.6%)を合わせた『知らない』(75.8%)は7割半ばとなっています。

(※)「やさしい日本語」とは外国人にもわかりやすく表現された日本語のことです。

(図21)

図21 n=558(単一回答)



第 33回港区民世論調査報告書概要版 ミナト オピニオン MINATO OPINION

令和4年(2022年)3月発行

【編集・発行】 港区企画経営部区長室

港区芝公園1丁目5番 25号 電話 03(3578)2111(代表)

刊行物発行番号 2021207-5861



港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。
この印刷物は、古紙を活用した再生紙を使用しています。